

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年2月13日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして、補足説明をさせていただきます。

本日御説明いたしますのは、1件、1ページ目、1. (1) の第66回の原子力規制委員会の議題についてでございます。こちらの原子力規制委員会定例会が、明日2月14日水曜日午前に開催される予定でございます。

議題は4件を予定しております。

まず、議題1「国際原子力機関（IAEA）の総合規制評価サービス（IRRS）フォローアップミッションに関する準備の状況について」。こちらにつきましましては、IRRSのフォローアップミッションにつきまして、昨年8月の原子力規制委員会において議論いただき、IAEAに対して実施を要請するということが了承されたところでございます。その後、現在まで準備を進めてきております、その準備状況について、また、今後の予定について、委員会に報告をするというものでございます。

続きまして、議題2「国際原子力機関（IAEA）の総合規制評価サービス（IRRS）による放射性物質輸送の規制に関する評価の実施について」。こちらの内容でございますが、平成28年に受け入れましたIRRSにおきましては、放射性物質輸送の規制に関する評価というのは対象外としていたところでございますが、その後、先ほど申し上げましたIRRSのフォローアップミッションを受ける際に、こちらの輸送の規制についても評価を行うということにつきまして、関係省庁と協議をして、検討を進めてきたところでございます。今回はその検討の結果を報告し、方針について審議をいただくということを予定しているものでございます。

続きまして、議題3「平成29年度第3四半期の保安検査の実施状況について」。こちらは平成29年度第3四半期の保安検査実施状況について、定例で委員会に定期的に報告をしているものですが、その報告を行うというものでございます。

最後、議題4「検査官等の資格付与に向けた制度の整備状況について」。こちらの内容でございますが、検査官等の資格付与に向けた制度につきましましては、昨年7月に委員会に報告を行い、その後、整理を進めてきているところでございます。今回はその整理の

状況について、委員会に御報告を行うということを予定しているものでございます。
私からの御説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。ヒガシヤマさん。

○記者 朝日新聞のヒガシヤマです。

金曜日の地盤関係の審査は、何かこの辺が入りそうというようなテーマというのは、まだ決まっていませんでしょうか。

○大熊総務課長 今週の金曜日ですね。恐縮ですが、今週金曜日についての議題、詳細は未定でございます。分かり次第、お知らせさせていただきます。

○記者 何か地盤の審査というのは、いつも前日にならないとフィックスしないのですけれども、これはリクエストでもあるのですが、もうそろそろプラント並みに、せめてこのブリーフぐらいでは概要が分かるようにしていただけませんか。これはお願いなのですが。

○大熊総務課長 要望として承りました。検討させていただきます。

○記者 お願いします。

○司会 ほか、ございますでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—